

2013

第16回日本ジャンボリー

実行委員会

実施要綱(案)

友情の和  
2013.8

KIRARA

SCOUTS JAMBOREE

テーマ／ 広げよう友情の和

期間／ 平成24年6月～平成25年10月

日本ボーイスカウト福岡県連盟

# 目次

概 要	1
16NJ 支援にあたって	2
16NJ 大会概要	3 (日連基本実施要領参照)
16NJ の特徴	4
支援の指針	5
心構え	6
支援内容	7
①派遣団	
②見学隊	
③ホームステイ	
④各地見学	
⑤場外プログラム	
⑥海外スカウト出迎え	
構成図	8
組織図	9
実行委員会の役割	10
輸送	12
活動費用	13
派遣団	14
参加記念	18
安全管理	19 (別紙参照)
事故対応	20
付表	21
緊急連絡網派・実行委員一覧・派遣隊長 ジャンボリー周辺図	

## **概 要**

### **趣 旨：**

日本ボーイスカウト福岡県連盟は 2015 年に山口県・きらら浜で開催される予定の第 23 回世界スカウトジャンボリーに向け、2013 年に第 16 回日本ジャンボリーに備えるために「支援プロジェクト」を開設し、参加者、訪問者に対してサービスを心がけたいと思います。また、さまざまな事業を展開しボーイスカウトの存在をアピールしたいと思っております。世界ジャンボリーは世界 160 の国と地域から約 3 万人の青少年が集まり、約 2 週間にわたって、キャンプをしながら「世界の仲間」と体験を共有します。その大会会を目指して福岡県連盟としてもできるだけの準備をします。

### **名 称：**

日本ボーイスカウト福岡県連盟 16NJ 支援実行委員会  
(16NJ 実行委員会)

### **テーマ：**

広げよう友情の和

### **会 期：**

平成 24 年 7 月～平成 25 年 10 月（1 年 4 ヶ月間）

### **会 場：**

大会会場 / 山口県山口市きらら浜  
活動基地 / 各地区会場  
県連盟本部 / 福岡県連盟事務局（県総合プール）

### **内 容：**

- ①派遣団の結成（派遣団本部員・参加隊・大会本部要員）IST
- ②派遣団提供プログラムの提供（日本連盟）
- ③派遣団ブースプログラムの提供
- ④派遣団の会場への送迎輸送
- ⑤見学隊の会場への送迎輸送
- ⑥ホームステイの手配（プログラム実施）
- ⑦海外スカウト来日歓迎の支援（福岡空港）
- ⑧各地区プログラムの支援（活動基地開設）

# 16NJ 支援にあたって

実行委員長 山崎 孝

2015年山口県きらら浜で開催される「第23回世界ジャンボリー」に先駆け2013年「第16回日本ジャンボリー」の参加を有意義なものにするために、大会前、大会中、大会後において事前準備計画を検討しそれを基にスカウト、リーダーへの支援を行ないます。約1年間にわたる準備になりますが、参加者が快適なジャンボリー生活を過ごすための準備です。関係するスカウト・成人指導者に出来るだけのサポートとサービスを心がけたいと思います。

- 
- ◆コンセプト      参加者へのサポート（活動、教育、支援）
  - ◆アクション      参加者へための事前支援、大会中のサポート、大会後の報告
  - ◆キーワード      参加者へサポート
- 

- ◇期 間            平成23年12月～平成27年12月（4年間）  
                    <16回日本ジャンボリー会期：7月31日～8月8（8泊9日）>  
                    <23回世界ジャンボリー会期：7月28日～8月8（12泊13日）>
- ◇内 容            大会参加のための事前支援  
                    大会中の支援  
                    大会後の報告  
                    活動基地における各種事業とサービス
- ◇基 本            基本方針（ちかいとおきての実践）奉仕  
                    実行委員会の会議・各部会の会議（大会情報の提供）  
                    参加隊活動実施計画の作成と実施（実施計画書・報告書）
- ◇参 加            県内外のスカウト・指導者及び一般
- ◇支 援            大会情報の提供・隊指導者会議当の開催・派遣団引率・大会参加事務手続

# 16NJ 大会概要

## 趣 旨：

2015 年に山口県・きらら浜で開催される予定の第 23 回世界スカウトジャンボリーには世界 160 の国と地域から約 3 万人の青少年が集まり、約 2 週間にわたって、キャンプをしながら「世界の仲間」と体験を共有します。

## 名 称：

第 16 回 日本ジャンボリー（略称：16NJ）

16th Nippon Jamboree

第 30 回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー（略称：30APRSJ）

30th Asia-Pacific Regional Scout Jamboree

## テーマ：

「和」～ WA: a Spirit of Unity～

プログラムの柱は環境、平和、開発

## 会 期：2013 年

平成 25 年（2013 年）7 月 31 日（水）～8 月 8 日（木）9 日間

世界スカウトジャンボリーの大会期間表記に合わせ、入場日と退場日を含む

## 会 場：

山口県山口市きらら浜（山口市阿知須町）

## 参加人員：

約 15,500 人（日本参加者 14,000 人を予定）

参加隊 40 人×300 隊=12,000 人+外国派遣団など 1,500 人が参加予定

大会運営スタッフ 2,000 人

## 参加費：

51,000 円（16NJ の基準）

## プログラム：

テーマ別プログラム（モジュール方式 Module）方式により

参加者は半日または 1 日の単位で「場内」と「場外」で行われるプログラムに参加。

<場内プログラム>

（地球開発村、クロスロード・オブ・カルチャー、シティー・オブ・サイエンス）、

<場外プログラム>

（地域社会奉仕、自然探求、水上活動、広島ピースプログラム）等を計画中

## 日 程：

- <16NJ> 7月29日（月）大会運営スタッフ入場  
7月30日（火）I S Tトレーニング  
7月31日（水）参加者入場・設営  
8月 1日（木）参加者入場（午前まで）・設営・開会式  
8月 2日（金）プログラム（モジュール）  
8月 3日（土）プログラム（モジュール）  
8月 4日（日）プログラム・全体行事  
8月 5日（月）プログラム（モジュール）  
8月 6日（火）プログラム（モジュール）  
各国連盟・県連盟代表の広島平和記念式典等への参加  
8月 7日（水）プログラム（モジュール）・閉会式  
8月 8日（木）参加者退場  
8月 9日（金）大会運営スタッフ退場

### <ホームステイ>

大会期間の前後 2・3泊

### <海外スカウト歓迎>

大会期間の前 1週間

## **16NJの特徴**

### ▼主に 15NJ との違いについて項目

- ①16NJ は国際大会として 23WSJ のプレ大会である
- ②参加者の人数 参加隊 12,000 人・スタッフ 2,000 人・海外スカウト 1,500 人
- ③ベンチャースカウトの扱い  
参加隊員・大会運営員（I S T）
- ④派遣団提供プログラム  
これまで日本連盟が提供のプログラム県連盟に変更
- ⑤会場が山口県きらら浜で近距離（約 80 キロで高速で 1 時間程度）
- ⑥大会運営スタッフ・国際サービスチーム員（I S T）の入場は 7 月 29 日とする  
23WSJ より 3 日短く、15NJ と同日数とする
- ⑦派遣団（県連盟）ごとの生活サイト

# 支援の指針

## 基本姿勢

★スカウトの自主自立を支援し、ジャンボリーを楽しもう。

推進の基本姿勢は「そなえよつねに」。できるだけ多くのことを経験にして、大会の準備をすることが大切です。どれだけ周到に準備をしたかによってその成果が大きく異なります。指導者もスカウトもともに大会に向けて準備をしてゆく、この準備訓練のなかで自分を見つめ、自分の進歩成長につながるように、自主自立をめざし将来の可能性を追求してみよう。

## テーマ

★広げよう友情の和（友情に厚い）

支援の全体のテーマとしては「広げよう友情の和」として大会に参加します。よって、指導者の方々には奉仕の精神を奮い起こしてジャンボリーを楽しんで頂きたいと思います。

スカウトたちには、長期キャンプを快適に過ごすには、体力も気力も技能も必要になり、これからさまざま経験を通じてジャンボリーへ参加します。その道のりは厳しく、それを乗り越えるには多くの人たちの助け（奉仕）が必要であることを実感し、感謝してほしいと思います。

## 目標

★ジャンボリーを楽しもう。

ジャンボリーを楽しむためには徹底的にジャンボリーを理解する必要があります。参加隊は班行動を中心に先輩スカウトは後輩スカウトの面倒を見て、さまざまなプログラムにチャレンジしてほしい。帰る時には全員が笑顔で戻り、思い出をいっぱい残して欲しいものです。

## 行程

★全体の流れを把握する。

運営本部の立てた実施計画に基づいて、実行委員会で決めたことを実行することが派遣団・地区への支援であり、ボーイスカウトの自主性であり、先のことを考えながら行動することを心がけましょう。

★大会前の準備／計画書を基に準備する。

★大会中の活動／プログラムを楽しむ

★大会後の行動／しっかり記録を残し、報告書の作成をする。

大会前	大会中	大会後
準備	健康安全	反省評価
大会参加者・訪問者への支援 隊指導者会議の開催 ジャンボリーの理解 計画書の書き方 プログラムの検討	各隊のチェック（活動・健康） 各隊への巡回 緊急時の対応	報告書の作成 改善事項 将来の展望

## 心構え

成人指導者としてスカウトに対し支援を通じて「ちかいとおきての実践」について模範を示す。（世界スカウト共通の理念を理解しよう）

### ちかい

神へのつとめ

それぞれの宗教を重んじ、各個人の信仰を尊重する。スカウト OWN を行なう。

他の人へのつとめ

一人で勝手に行動するのではなく、絶えず、他の人々への思いやりを持って行動する。

自分へのつとめ

自分でできることは自分です。計画を立てて各自の準備を十分にします。

### おきて

誠実／福岡県の代表としての誇りを持ち、すべてのことに誠意を持って対応する。

友情／日本全国のスカウトと交流を通じて友達をつくり、友情を深める。

礼儀／各集会、目的地までの道中、大会会場での礼儀作法を守る。

親切／先輩スカウトは後輩スカウトの面倒を良く見て、助けをする。

快活／何事にも積極的に活動に参加する。明るく元気に行動する。

質素／無駄遣いをしない。資源を大切にする。無駄なものを持って行かない。

勇敢／他県のスカウトに対しても物怖じせずに物事にはっきり意思表示する。

感謝／すべてのことが多くの人に支えられていることを知り、感謝する。

「毎日を反省して、明日の向上につなげる。」

## <成人指導者の心構え>

- ①お互いがボランティアであることの自覚を深め、支援について協力する。
- ②派遣団・隊指導者（大会参加者）への支援のためのサポートを構築する。
- ③実務優先の役務を設け、各部門（部会）を設け、自主的に行動する。
- ④役務の内容を十分に理解し、不足の分については相互の協力によって補う。
- ⑤諸問題については十分に協議し、決定したことは遵守する。

# 支援内容－1

## ■業務内容

### 1. 派遣団

- ①派遣団全体の把握
- ②大会会場での事前準備(実施計画書作成指導)
- ③ジャンボリーの情報提供
- ④派遣団の安全対策

### 2. 参加隊

- ①参加隊の入退場の手配と引率
- ②参加隊の事故の対応
- ③ジャンボリーの情報提供

### 3. 本部要員 (IST)

- ①大会本部要員の把握 (交替要員の把握)
- ②大会本部要員との連絡
- ③大会本部要員の入退場の手配

### 4. 見学隊

- ①見学隊の入退場の手配と引率
- ②見学隊の事故の対応

### 5. 派遣団プログラム

- ①派遣団プログラムの支援 (派遣団ブース「展示コーナー」の企画、運営)
- ②派遣団内での健康安全管理
- ③派遣団内での救護支援

### 6. 各地区でのプログラム

- ①県内でのスカウトプログラム
- ②実施計画書等の指導と精査

### 7. ホームステイ

- ①海外スカウトの受入れと観光案内支援
- ②海外スカウトの健康安全管理

### 8. 歓迎プロジェクト

- ①海外スカウトの来日の歓迎企画

## 支援内容－2

### ■ホームステイ

海外スカウトのホームステイ受入れに関する業務

- ①ホストファミリーの条件
- ②受入れ人数の検討（現在ブロックで20名 福岡予定）
- ③活動プログラムの検討
- ④ホームステイの注意点
- ⑤ホームステイの費用（食事・活動費）

### ■来日スカウトの歓迎

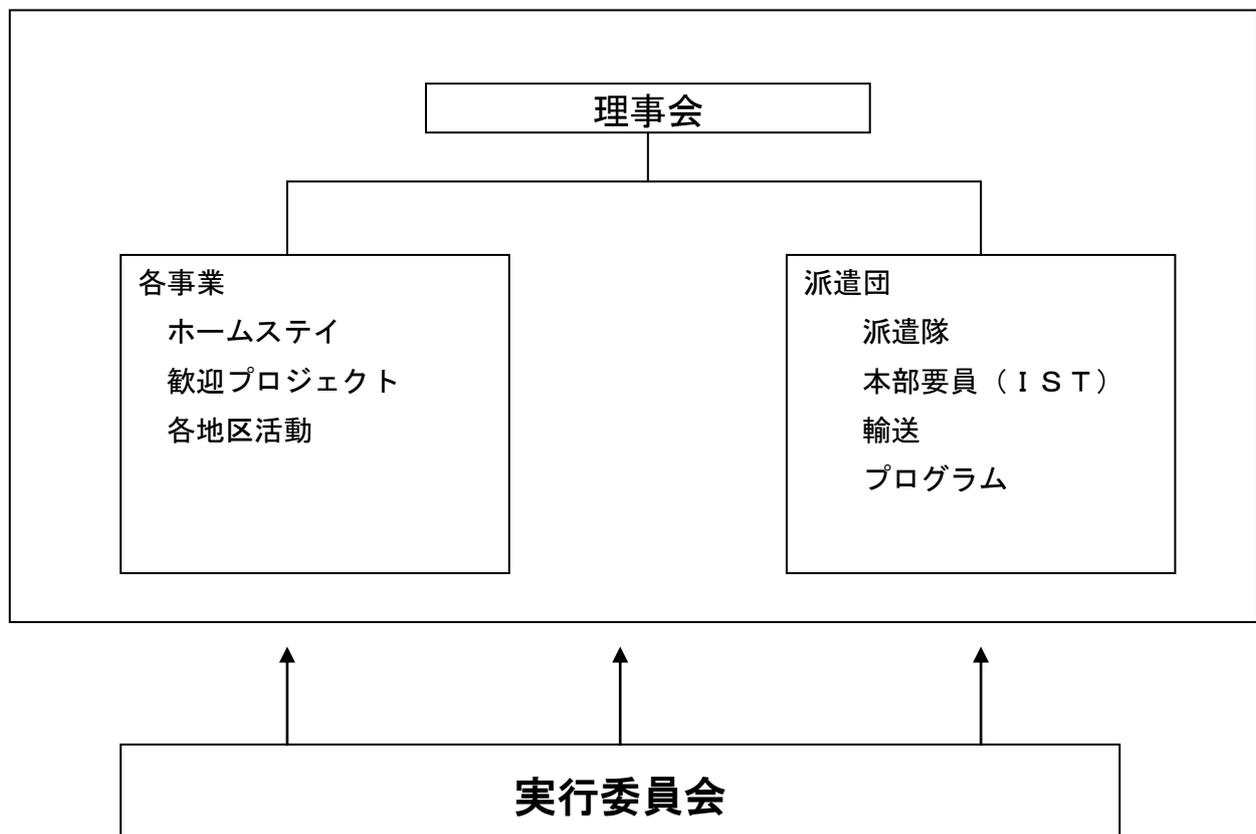
海外スカウトの入国に対しての歓迎と案内に関する業務

#### ●福岡空港での歓迎

- ①来日スカウトの人数
- ②歓迎プログラムの検討
- ③会場までの案内の検討
- ④経費の検討
- ⑤スタッフの検討

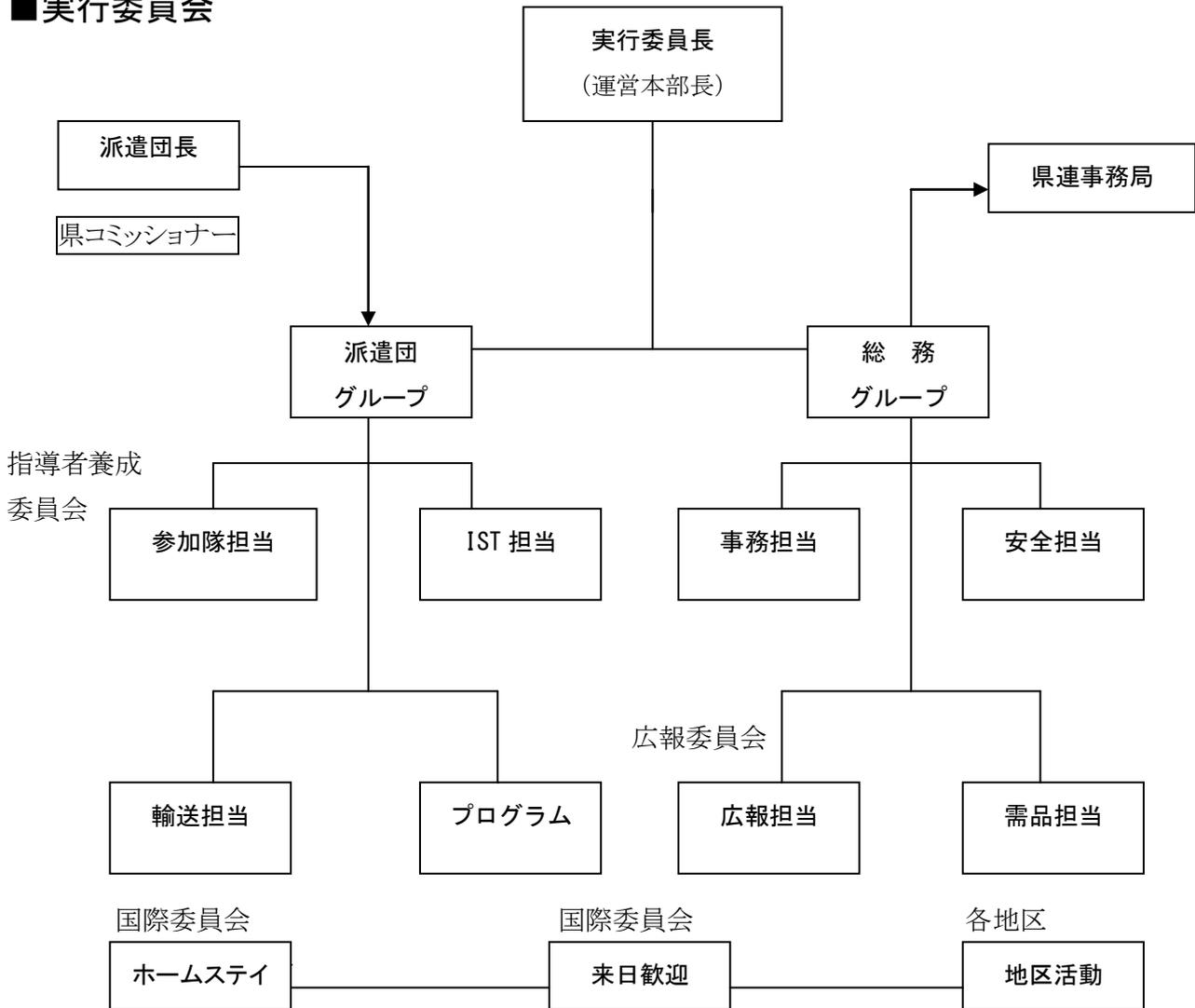
## 構成図

16NJ



# 組織図

## ■実行委員会



## ■各部会の役務

- ① 実行委員長 …………… 全体の総括管理
- ② 運営本部長 …………… 全体の業務の遂行（計画、スケジュールの確認・報告）を担当
- ③ 事務局 …………… 事務全般における業務管理を担当
- ④ 派遣団グループ長 ……… 派遣団全体の調整・支援、
- ⑤ 参加隊担当 …………… 参加隊における支援と指導
- ⑥ IST 担当 …………… IST に対しての支援
- ⑦ 輸送担当 …………… 参加者、見学者、観光等の輸送を担当
- ⑧ プログラム担当 ……… プログラム、セレモニー等を担当
- ⑨ 総務グループ長 ……… 参加者、設備・資材の調達等を担当
- ⑩ 総務担当 …………… 会計を含む事務総括を担当
- ⑪ 安全担当 …………… 健康管理・救急・安全管理・安全指導を担当
- ⑫ 広報担当 …………… 大会の広報、派遣団等全般を担当
- ⑬ 需品担当 …………… 参加用グッズ（ネックチーフ等）に関する業務を担当
- ⑭ その他担当 …………… ホームステイ・海外スカウト・地区活動

## 実行委員会の役務

《実行委員会のメンバー》 実行委員会を設置し、派遣団等の支援を行う。

- 各地区代表者 /12名（各地区2名）1名は事務方（総務）
- スカウト活動委員会 /1名 指導者養成委員会 /1名
- 広報委員会 /1名 県コミッショナー /1名他（副コミッショナーも含む）
- 国際委員会 /1名

### 《役務内容》

- 運営本部** ……………実行委員長・派遣団長・副派遣団長・県連事務局長  
支援プロジェクトとしての企画及び計画書構想立案・本部要員の把握
- ①実行委員会としての心構え／基本方針
  - ②日連、県連（理事会）、ブロック（SC）との調整。
  - ③日本連盟との連絡／派遣団としての現況を報告する。
  - ④実施要綱の作成
- 各隊の計画書、報告書、各隊の活動状況、参加隊との連絡網の確認。

**派遣団グループ** ……………支援全般の指揮を執る。

- 参加隊担当 ……………推進プロジェクトに関する企画業務を行う。部会議の開催。
- ①活動基地の業務／実施計画書に基づいて進行する。
  - ②プログラム /大会プログラムの説明（内容と手続き）

- IST担当 ……………支援プロジェクトに関する業務を行う。部会議の開催。
- ①活動基地の業務／実施計画書に基づいて進行する。
  - ②プログラム /大会プログラムの説明（内容と手続き）

- 輸送担当 ……………支援プロジェクトに関する輸送業務を行う。
- ①部会の会議の開催
  - ②行程管理（派遣隊の移動、資材の確保を担当する。） 弁当の手配
  - ③輸送手段の選定、交渉
  - ④派遣団の引率、（参加隊、派遣団要員、大会本部要員、IST要員）
  - ⑤資材等の手配（レンタル品の予約、資材、台所用具）
  - ⑥大会後の観光、見学等の調整を行う。
  - ⑦参加者の往復の手配

- プログラム担当 ……………支援プロジェクトに関する業務を行う。部会議の開催。
- ①活動基地の業務／実施計画書に基づいて進行する。
  - ②プログラム /大会プログラムの説明（内容と手続き）
  - ③セレモニー /結団式・壮行会／司会進行
  - ④諸問題のサポ－ /新任の隊長、計画書の作成と実施

**総務グループ** ……事務全般についての指揮を執る。

事務担当 ……事務一般、会計、連携を行う。

- ①担当部会も会議の開催
- ②実行委員会の会計処理を行う。
- ③事務・会計派遣隊の事務及び会計を担当し、調整する。
- ④参加状況、参加費の徴収（交代要員の手配も含む）
- ⑤派遣団参加申し込み（参加隊・派遣団要員・大会本部要員）
- ⑥各地区との連絡／各地区事務局、各隊庶務に必要事項の連絡
- ⑦実行委員会の日程表の作成
- ⑧カブ・ビーバー見学の状況を把握する。

広報担当 ……大会情報の広報全般を行う。

- ①担当部会の会議の開催
- ②大会情報の収集
- ③大会広報の伝達／日連からの連絡

安全担当 ……派遣団、派遣隊の健康、安全に対して十分な注意を払う。

- ①担当部会の会議の開催
- ②健康・安全の講習
- ③参加隊輸送時の健康安全（派遣団に医師を随行
- ⑥派遣団としての保険の対応（短期活動保険）
- ⑦安全対策／ 大会前、輸送中、大会中の安全

需品担当 ……派遣団のための参加記念品の企画運営を行う。

- ①担当部会の会議の開催
- ②総務部会と協力して事業の進行をする。
- ③参加記念品（需品）の選定、交渉  
Tシャツ、キャップ、ハット、ネッカチーフ

ホームステイ担当 ……来日スカウトのための宿泊・歓迎等の企画運営を行う。

- ①担当部会の会議の開催
- ②国際委員会と協力して事業の進行をする。

歓迎担当 ……来日スカウトのための歓迎等の企画運営を行う。

- ①担当部会の会議の開催
- ②国際委員会と協力して事業の進行をする。

# 輸 送

※別紙参照（輸送計画書）

## 派遣団・見学隊

### ●大会会場までの往復

7月31日	<u>バス</u> 県内各地→→→	<u>九州自動車道</u> 壇ノ浦P（10：00）	→→→	<u>大会会場</u> きらら浜（11：30）	
8月8日	<u>大会会場</u> きらら浜（10：00）	→→→	<u>九州自動車道</u> 壇ノ浦P（11：30）	→→→	<u>バス</u> 県内各地

## ■各地見学ガイド

### ●活動基地から案内ガイド

大会前 期間中 大会後	<u>バス</u> ジャンボリー会場（きらら浜） （9：00）	→→→	山陽自動車道	→→→	<u>昼食</u> 門司IN （10：30）
	→→→	活動基地 めかり公園 （10：40）	→→→	県内各地	

※ 各地の道路状況により時間、行程の時間の変更あり。

## ■福岡空港歓迎 部隊

### ●福岡空港からの案内

大会前 期間中 大会後	<u>バス</u> 福岡空港（海外スカウト） （9：00）	→→→	→→→	<u>九州自動車道</u> （北九州） （10：00）	<u>昼食</u>
	→→→	山陽自動車道（山口）	→→→	宇部SA （11：00）	→→→
	→→→	阿知須	→→→	ジャンボリー会場（きらら浜） （11：30）	

## 派遣団 IST 輸送計画

●大会会場までの往復 日程 7月29日～8月9日

## 派遣団本部員輸送計画

●大会会場までの往復 日程 7月30日～8月9日

## 派遣団・参加隊資材輸送計画

●大会会場までの往復 日程 7月30日～8月9日

# 活動費用

## <収入>

### ■派遣団 (16NJ)

大会参加費		指導者		スカウト
		全日程参加	交代参加	
日連費用	予納金	10,000- /人	10,000- /人	10,000- /人
	参加費	41,000- /人	31,000- /人	41,000- /人
県連費用	全員			

※県連費用内訳 / 交通費、弁当、コンテナ、チーフ、Tシャツ、ハット・トラック

### ■活動基金

項	目	単価	個数	金額
県連費用分	基金			
	企業献金			
合計				

## <支出>

### ■活動基地運営費用

		全日程参加	個人負担
県連費用	設備費		
	購入費用		
	派遣団		
合計			

※県連費用内訳 需品費 (チーフ、Tシャツ、ハット)

### ■見学案内費用 (シャトルバス)

交通費	往復		片道	
	子供	大人	子供	大人

### ■ホームステイ費用 (活動費・事務費)

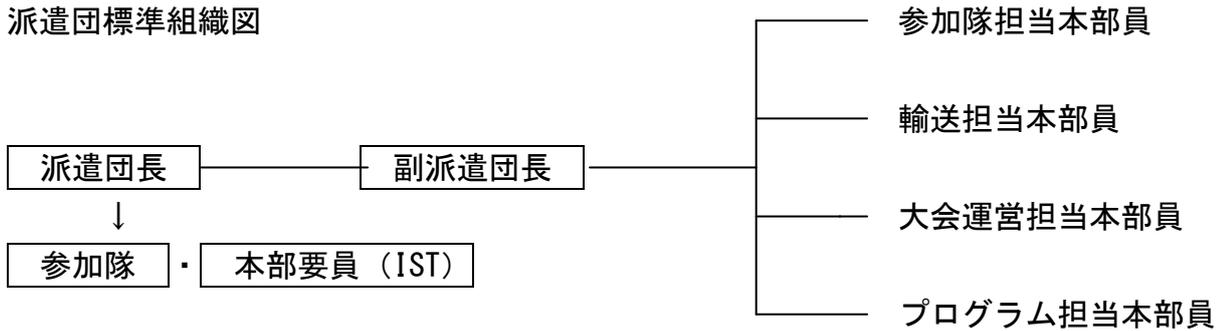
活動費	県連		地区	
	子供	大人	子供	大人
交通費				
事務費				

### ■振込口座

銀行名	支店名	口座番号	加入者名
福岡銀行	月隈支店普通	454911	日本ボーイスカウト福岡県連盟 16NJ 実行委員会 事務局 森永信一路

# 派遣団

## 派遣団標準組織図



## ■業務内容

### 1. 派遣団長

- ①派遣団全体の把握
- ②大会会場での事前準備
- ③派遣団の安全対策

### 2. 副派遣団長（安全担当者）

- ①大会本部要員の把握（交替要員の把握）
- ②大会本部要員との連絡
- ③大会本部要員の入退場の手配

### 3. 参加隊担当本部員

- ①大会本部要員の把握（交替要員の把握）
- ②大会本部要員との連絡
- ③大会本部要員の入退場の手配

### 4. 輸送担当本部員

- ①大会本部要員の把握（交替要員の把握）
- ②大会本部要員との連絡
- ③大会本部要員の入退場の手配

### 5. 大会運営担当本部員 (IST)

- ①大会本部要員の把握（交替要員の把握）
- ②大会本部要員との連絡
- ③大会本部要員の入退場の手配
- ④派遣団提供プログラムの企画・運営

### 6. プログラム担当（県連盟提供）

- ①プログラム実施（4ブース）
- ②派遣団提供プログラムの支援（派遣団ブース「展示コーナー」の企画、運営）

## **派遣団・派遣隊・IST への支援**

- ①大会概要の説明
- ②派遣団としての情報開示
- ③隊指導者・IST 集会（参加隊長・副長・本部要員）
- ④各隊の実施計画書（事前訓練）
- ⑤決議事項（需品・大会参加記念品）
- ⑥連絡事項（日本連盟）
- ⑦参加隊・IST の名簿確認
- ⑧隊での諸注意（安全対策）
- ⑨「IST ベンチャーグループ」の結成と運営

## 16NJ 派遣団 構成人員

### ■派遣団人員

派遣団長	/	1名	
副派遣団長	/	2名	
派遣団要員	/	4名	(派遣隊・輸送・IST・プログラム) 各担当
		7人	……①

プログラム員チーフ	/	4名	(4ブース×1名) IST
プログラムスタッフ	/	8名	(4ブース×2名) IST ※ベンチャーも含む
		12人	……②

■参加隊長	/	6名	(6地区6隊×1名)
参加隊指導者	/	18名	(6地区6隊×3名)
		24人	……③

■大会本部要員 (IST)	/	(日連要望) 56名	(地区平均8名)
		派遣団プログラム員も含む	
		ベンチャーも含む (大会時16歳以上)	
		派遣団プログラム員を除く② (-12人)	/ 44名……④

■参加スカウト	/	(6地区6隊×36名) 216名	……⑤
		ベンチャーも含む (大会時高校生)	

派遣団成人数	/	83名	①②③④ (ISTも含む)
スカウト数	/	216名	⑤

派遣団員総数		299名	①②③④⑤
--------	--	------	-------

※交代要員は含まれていない (交代要員は2人1組で1人とする)

※派遣団長の交代は認められない。

※参加隊長の交代は認められない。

※会場への入退出は派遣団本部に届け許可を得る。

## 16NJ 福岡派遣団提供プログラム

- ①GDV (グローバル ディベロップメント ヴィレッジ) 地球開発村  
 ②CRC (クロス ロード オブ カルチャー) 文化交差点  
 ③COS (シティ オブ サイエンス) 科学都市  
 ④APRSC (APR スカウト センター) 派遣団独自プログラム

プログラム担当本部員		坂本 國實	プログラム全体の責任者	
	プログラム	担当者	テーマ	内容
①	GDV (保健) I	白潟 琴江		ドラッグ
②				
③				
④	GDV (環境) II	塩川 浩史	モデル都市	北九州市の取り組み
⑤	GDV II	藤村 千恵	モデル都市	水 (雨水・保水他)
⑥				
⑦	CRC	倉成佳代子	エネルギー	石炭 (資源)
⑧				
⑨				
⑩	COS 前半	松田 聖一	エネルギー	トヨタ自動車・安川電機
	COS 後半	松田恵美子	エネルギー	ゼンリン・東陶・新日鉄
⑪				
⑫				
団	APRSC 派遣団	伊藤紀久美		参加隊担当
		山領 正太		輸送担当

### <その他のプログラム>

- ①全体行事 (開会式・閉会式・大集会)  
 ②地域奉仕プログラム  
 ③水上活動 (場内プログラム)  
 ④広島ピースプログラム (場外プログラム)

## 参加記念

### ★派遣団参加記念品（需品）

（15NJ参考）

参加記念としてハット・Tシャツ・ネッカチーフを作成し、デザインについては公募し、  
予算金額については 円以内とする。

色彩については

- ①ハット .....
- ②Tシャツ .....
- ③ネッカチーフ .....

## セレモニー

### ★主な行事

壮行会（各地区・各団）

派遣団／結団式………  
／解団式………

大会（開会式・閉会式・大集会・スカウト平和の日）

★大会出し物として「〇 〇 〇」に\_\_\_\_\_隊のスカウト名\_\_\_\_\_予定

★派遣団結団式・解団式にスカウト代表を選出する予定

★大会開会式・閉会式での旗手の選出

## 広報通信員

★ スカウト通信員を各隊1名選出

### 通信員一覧（スカウト）

No.	隊所属	氏名	地区	クラス	所属団	年齢
1	1 隊		北九東	隊	団	
2	2 隊		北九西	隊	団	
3	3 隊		福岡東	隊	団	
4	4 隊		福岡中	隊	団	
5	5 隊		福岡西	隊	団	
6	6 隊		福岡南	隊	団	

## 安全管理

**安全はすべてに優先する**（自分の体調は自分で管理する）

ジャンボリーは慣れない土地での生活になるので体調には万全を尽くさなければならない。気候の変化、食事の変化、普段の生活にくらべてストレスが掛かる。そのためにも事前訓練では十分にそのことに配慮して、適切な行動と注意力を養うことを心がけたい。それが安全につながる。

### ☆病気・ケガ・災難

内容	原因	対応	予防
脱水	暑さ	水分補給	水筒持参
豪雨・落雷	自然状況	避難・安静の確保	気象状況の把握
			金属類の不所持
ムシさされ	蚊・蠍蚊・蜂	薬品	茂に立ち入らない
寝冷え・冷え性	体温・睡眠状態	暖める・毛布	防寒具の用意
食あたり	食事・生水	煮沸	賞味期限
嘔吐	食中毒・変調	休息・病院	規則的生活
便秘	緊張・体調の変化	下剤	食事制限
腹痛	胃炎・生理・食中毒	胃薬	事前告知
頭痛	風邪・貧血	休息	予防薬
持病	体質	自己管理	事前告知
ねんざ・打ち身	転倒・転落	湿布	靴・足元注意
やけど	火・摩擦	軟膏・水	軍手・周囲配慮
紛争	意志の疎通	状況を考える	わがままを抑える
迷子	土地勘がない	冷静に現在地に確認	地図・連絡先
ホームシック	不安	家族に連絡	仲間を作る

### 安全対策

- ①会場は相当に暑く空気が乾燥し、発汗が激しくなるので、普段から水分の補給を十分にする。
- ②トイレは毎日チェックする。持病のある場合は事前に連絡する。
- ③突然豪雨になり、雷が落ちる。突然の天候不順にそなえる。
- ④単独行動は避け、必ず班行動をする。

### ☆緊急連絡先

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
派遣団団長（門司）	080-5286-2886	家族	
地区事務局		友人	
参加隊々長		職場	
原隊隊長			

**注意事項** /連絡が付かない場合は、再度連絡か、複数への連絡先、または宿泊地に戻る。

# 事故対応

## 1. 事故発生に備えて

- ① 隊指導者は傷病者発生時に備えて、ジャンボリー本部救護所（SC 救護所も含む）の利用方法、場所を把握し、指導者間の所在を周知しておく。
- ② 隊指導者は、緊急時の対応として、地区・原隊・保護者の連絡先を把握し、指導者間で情報を共有する。その際、参加者の個人情報の流出防止をする。  
（事前に使用目的、事後の廃棄など）
- ③ 指導者は「救急法講習会」の事前受講など応急救護スキルの維持に努める。
- ④ 健康保険証のコピーは参加カードへ入れて常時携帯する。

## 2. 事故発生時の対応（事故発生時の流れ）

### ① 大会会場内の事故

- ★ 事故発生（スカウト本人、近隣スカウト）  
↓
- ★ 所属隊長への連絡  
↓
- ★ 派遣団本部への連絡  
↓
- ★ SC 安全管理への連絡／SC 救護所での処置  
※ 緊急時は SC 本部へ連絡後、直ちに大会本部救護所へ

### ② プログラム活動中の事故

- ★ SC 救護所または医療班の病院まで搬送する。  
↓
- ★ 安心できる状態で引き継ぎ、県連派遣団で対応する。

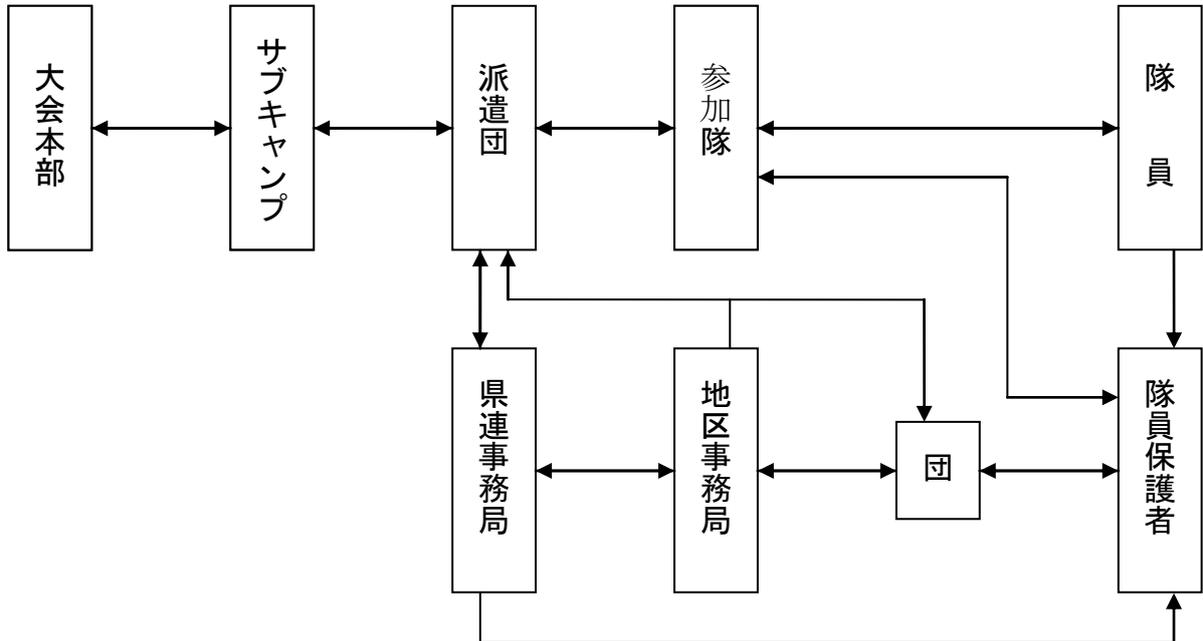
### ③ 事故発生時の連絡

- ★ 保護者への連絡……………各隊長（その後は県連派遣団本部）
- ★ 所属団への連絡……………県連派遣団本部・参加隊長
- ★ 県連盟への連絡……………県連派遣団本部

### ④ 緊急時の対応と連絡（派遣団の事故および災害に遭遇した場合）

- ★ 派遣団の緊急時は大会本部と県連事務局に直接連絡し、今後の対応を検討する。
- ★ 個別の対応／緊急時の個別の連絡は情報が錯綜し、混乱するので連絡があるまで待機。

# ジャンボリー福岡派遣団 緊急連絡網



## 《緊急時連絡先一覧》

部署	氏名	連絡先	部署	氏名	連絡先
県連事務局		092-624-3755	派遣団長	門司 昭英	090-6894-2497
地区事務局			副団長	津田 弓彦	090-8660-2147
北九東			福岡1隊	田中 秀幸	
北九西			福岡2隊	古賀 祐介	
福岡東			福岡3隊	井出 明子	
福岡西			福岡4隊	伊東 清寛	
福岡中			福岡5隊	高崎浩太郎	
福岡南			福岡6隊	梶原 栄二	

## <ジャンボリー会場での連絡>

**参加隊** → 派遣団 (参加隊担当 伊藤紀久美) → 派遣団長 → 県連・地区

**IST** → 派遣団 (IST担当 津田弓彦 090-8660-2147) → 派遣団長 → 県連・地区

# 実行委員名簿

## 《実行委員一覧》

No.	実行委員会	役 務	氏 名	所 属	派遣所属	備考
1	実行委員長	全体統括	山崎 孝		派遣団	
2	派遣団グループ長	企画・安全担当	津田 弓彦	県連理事	派遣団	
3	派遣隊担当	派遣隊全般	伊藤紀久美	県連理事	派遣団	
4	IST担当	IST 全般	津田 弓彦		派遣団	
5	輸送担当	輸送全般	山領 正太	地区副コミ	派遣団	
6	プログラム担当	プログラム	坂本 國實	活動委員長	派遣団	
7	総務グループ長	総務・事務総括				
8	安全担当	安全全般				
9	事務担当	事務全般				
10	広報担当	広報全般	畠山 武司	広報委員長		
11	需品担当	参加記念品				
12	ホームステイ担当	ホームステイ		国際委員		
13	基地担当	活動基地				
14	会計担当	会計全般				
15	記録担当	記録全般				
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26	参 与		森永信一路	事務局長		
27	参 与		門司 昭英	派遣団長	派遣団	
28	参 与		藤田 俊郎	県コミ	日連	

## 《参加隊長》

隊	氏 名	地 区	役 務
1 隊	田中 秀幸	北九東	地区コミッショナー
2 隊	古賀 祐介	北九西	地区スカウト活動委員長
3 隊	井手 明子	福岡東	地区副コミッショナー
4 隊	伊東 清寛	福岡中	地区委員長
5 隊	高崎浩太郎	福岡西	地区副コミッショナー
6 隊	梶原 栄二	福岡南	春日 1 団 BS 隊長